学校番号	1015

令和８年度　総合学科

教科	学総合	科目	（学）インターンシップ	単位数	1	年次	2
使用教科書	なし						
副教材等	未定（受け入れ企業により異なる）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己の興味・関心に基づいて、就業前に正しい勤労観の育み、社会的なマナーや正しい言葉使いを習得しましょう。
良好な対人関係を維持するのに必要な心構えを会得し、進路を具体的に考える契機にしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
学生と社会人の違いを理解し、業種や労働法に関する知識を獲得させ、職業選　　択に向け,社会人としてのマナーを身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
実際に就業体験の計画立案から振り返りまで行うことで、働いている人たちと同じ目線に立ち、自分の考えたことを現場で体現させる。また、現場で直接学ぶことにより、社会人としての規範意識を学び、今後の職業選択や進路実現について考え、自らが望む職業・進路を判断する。
【学びに向かう力、人間性等】
「働く」という学校とは違った環境で学ぶことに対して、それまでの学びや学校生活での経験を活かし、積極的にコミュニケーションを図る力や協調性を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	進路実現や社会生活を考えていく上で必要な情報を把握し、理解するとともに、得た知識を調べ学習や教え合いで深めながら処理し、言語化できる技能を身につけている。	進路実現を考え、社会生活を営んでいくために、自身が向き合うべき課題を現地での経験を通して発見・追究し、言語化しながら他者に向けて発信・表現する力を身につけている。また、そのことを今後の参考にしながら、今後の課題について、自分なりに考え、判断していくことができる。	学習を通して得たものが自らの今後にとって必要不可欠であるということを自覚し、振り返って評価することで、これからの自身に生かそうとしている。また、今後のために新たな課題に向かおうとする姿勢を育もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	インターンシップについて	インターンシップの概要を学ぶ 就労内容についての理解	a:自己理解を深め、就業に向けて必要な知識や技能を理解できる。 b:コミュニケーションを図り、現場での体験に向けての自分の考えや思いを伝えることができる。 c:考えたものをまとめ、現場での体験に生かそうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	実施計画の作成・事前指導	研修日誌の作成や下調べ マナー講習	a:自己理解を深め、就業に向けて必要な知識や技能を理解できる。 b:調べたことを基に、現場での体験に向けて、具体的に計画を立てることができる。 c:考えたものや学んだマナーを、現場での体験に生かそうとしている。	ワークシート	ワークシート	計画書
2	就業体験	就業体験をし、日誌に記録する 施設担当者にコメントをもらう	a:事前に学んだ知識や技能を現場での体験に当てはめて理解できる。 b:コミュニケーションを図り、現場での体験から得られるものを表現したりまとめたりすることができる。 c:感じたことや考えたことを現場での次の体験に生かそうとしている。	ワークシート 日誌 報告書	ワークシート 日誌 報告書	ワークシート 日誌 報告書
	事後指導	就業後のアンケート実施と報告書の作成、お礼状の作成	a:振り返りの中で得た知識や技能を理解できる。 b:振り返りの中で自分の得た考えや思いを伝えることができる。 c:考えたものをまとめ、これからの学校生活に生かそうとしている。	発表 実施報告書	発表 実施報告書	発表 実施報告書
3	単位認定	活動のまとめ	a:全体を通して得た知識や技能を理解できる。 b:自分の得た考えや思いをまとめることができる。 c:考えたものをまとめ、これからの社会生活に生かそうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度